



本日 日曜 祭日
一月十五日 二十五日
二月十日 二十日
三月五日 十五日
四月十日 二十日
五月五日 十五日
六月十日 二十日
七月五日 十五日
八月十日 二十日
九月五日 十五日
十月十日 二十日
十一月五日 十五日
十二月十日 二十日

戸田堰合同の紛争に 土木課長の實地踏査

臭味タツブリのこたぐを
どう解決することやら

石城郡大野村地内仁井田川改修に
仁井田の一部反対者等は幾百に
對して部落民一部に反對ある
ことは屢報の如く去る十八日
日縣議員草野三郎氏の東道
で反對者二十名が縣廳に出頭
知事並に土木課長に陳情の結
果近く土木課長の現場調査の
上左右を決定する旨を説かれ
て歸郷した反對側は引續き同
志の糾合に奔命中であるが右
の紛争には黨派的臭味と感情
を多分にもつ醜さがあり仁井
田川改修事務所では組合組織
による公共團體の堰でないか
ら既得権の如きものは認めら
れずとして依然合同の主張を
いと見られてゐる

出荷簿から米漸騰

一俵十圓八十一錢
石城郡販聯昨廿一日の共販
糯米は十二圓六十錢

石城郡販聯に於ける昨二十一日の
依米共販は各農倉の出荷
左記の如く合計二百七俵の外
に双葉郡龍田信用組合からの
依託販賣百六十俵に對して午
後十名名の米穀商に競争入札
の結果建値平農倉の一俵十圓
八十一錢が最高値、龍田信用
の平農倉十圓六十九錢が最低
値で何れも商約されたが前回
操上げ共販をなす由である

近藤事務官の監察に 舗装と新川改修陳情

今日來郡した内務省一行に
隙のない青沼町長その他

本縣下に於ける凶作地監察の
ため出張中である内務省の近
藤事務官並に屬一名は縣土木
課の阿部主事及び木村技師の
案内で會津方面から中通り及
び濱通り相馬、双葉の視察を
終えて今二十一日午後三時四
分倉町から石城郡に移り小林
土木監督所長地元選出縣議を
の他に迎ひられて郡南方面町
村長に凶作地の實地を聴取し
當夜は湯本松栢館に泊し明二
十三日郡内の監察を終ると同
時に歸京の筈であるが平町で
は舗装道路計畫及び新川改修
工事關係があるので青沼町長
外縣會議員その他宿舎を訪ね
て現地の狀況視察を請ひ右の
施行實現に關して熱心に陳情

鐘紡委員 今日出京

運動を開始
平町の鐘紡工場誘致委員會は
既報の如く二十一日午後一時
から町會議室に於て開催二十
四日東京に於て開催する鐘紡
本社の常例總會に出席のため
同社の津田社長が上京してゐ
るのを幸ひ猛烈な誘致運動を
起す事に協議決定直ちに二十
二日午前八時五十分平農發列
車で青沼町長、井上議長以下
七名の委員一行が出京した

都市計畫專任の 技術者を町が物色

専任の箱崎技師退職で
平町の都計準備に支障

都市計畫に乘出した平町では
一定等に著々として準備を進め
交通網、住宅地、計畫區域の決
定等々、四月第一回の郡

悪性インフレーションはイン
フレーション即ち通貨
膨張による景氣招致策
に正常を缺いて失調に
不換紙幣を増發し貨幣
價值を低下させて物價
騰貴を招來するが如き
を悪性とされるものだ

町内居住の失業者 インテリだけ

労働者の失業は皆無
炭界活況の影響で

今絶頂の黄金時を現出してゐる
者十二名を数へるのみである
常務炭界は磐城、入山、古
河の三大炭礦はさらなり、斤
先堀、個人經營の幾多群小炭
礦まで殺倒する注文に全能力
を發揮して出炭の増加に努め
てゐるが此の出炭増加に伴ひ
労働者不足から平農發所を通
じての求人急激に増加今月
に入つて既に炭礦方面だけの
求人五百余を数へ同所のみ
求職者を以つたわけでは應じ
切れないので各地紹介所と連
絡を執り求職者を炭界に振り
向ける事となつたが労働者の
需要増加による求職減少は同
所開設以來の奇現象である尙
昨年あたりまで三百名内外に
達してゐた町内民住の失業者
も匡救土木工事その他炭礦方
面からの求人により労働者の
失業は皆無、僅かに會社員を
除きインテリ職業希望の失業

藝者上りの裁縫教師 仕立物を横領し逃走

二度の勤めを出願したが
舊悪曝露の緒口

當時四倉町字新町居住田中リ
ン(三)は裁縫教師として弟子
をとる傍ら同町上流階級の人
々から仕立物の依頼に應じて
ゐたが昨年十月中同町下管
家人雄方から依頼された代約
三十圓の飾仙單衣數點を始め
外十餘名から依頼された代約
合計四百餘圓の衣類仕立物全
部を横領して逃走行方を晦ま
したので四倉署では各地に手
配捜査を續けてゐた折柄昨二
十一日栃木縣那須郡烏山町字
金井町藝妓置屋佐藤龜吉方か
ら子松と名乗り藝妓に出るべ
いとの旨を告げられた

平署管下の交通禍 去月だけで廿八件

大半は自動車によるもの

最近平町地方に頻々たる交通
事故がありその大半が自動車
によるもので去月中だけでも
大小二十八件の事故を数へら
れてゐるが平署では歳末から
新年へかけての營業多忙から

大体計畫の骨子だけは箱崎
君が在任中に纏めて置いた
ので今直ちに支障があると
言ふ様な事はない、然し計
畫準備の上には専任技術者の
無い事は不便至極で當局と
しても可及的速に後任者を
決定したいと思ひ目下物色
中なのだが仲々適任者がな
いので、
と語り目下各方面に物色中
で遅くも今春三月中には決定
するものと豫想されてゐる

講堂竣工 今日盛大な 祝賀式舉行

豊間校の
祝賀式舉行

豊間村小學校の講堂新築は昨
年十一月八日着工以來工を急
いでゐたが此の程木筋コンク
リート造りのモダン大講堂が
見事に落成したので今二十二
日午前十時から縣知事、學務
部長兩代理以下地方名士、村
内有志等約二百名の來賓を迎
えて盛大な竣工祝賀式を舉行
した

郷倉設置の 實現申合

實檢と農會で

平町の縣檢支所では今二十
二日午前十時から支所の樓上
に月次會を開き所員の外青山
郡農技師、米山農林技師を加
へて穀類の檢査事務打合せ並
に郷倉設置に關して各自適當
區を定め責任を以て實現に努
力すべく申合せた

旅費稼ぎの 妙案

當時平町町料理店松の壽し
平松本清之助方旅人岩手縣騰
澤郡前澤町字七日町生れ菅原
徳治(三)は去十九日午後三時
頃主人から十圓札を兩替して
來いと命ぜられた出たまゝ夜
分になつても歸宅しないうで
出奔したものと知つた主人か
ら昨二十一日捜査方を願出た
が徳治は右の十圓を旅費にし
て東京方面に向つたらしい

代理店を
説諭願ひ
本社常務から
平町一丁目帝國火災保險會社
平代理店比佐信太郎は保險
加入者から代理店を通じて拂
込んだ保険料の中四十一圓を
本社に送金せず屢々清算方を
督促されてゐたが放置してゐ
たので二十日東京市麹町區内
幸町一丁目二帝國火災保險會
社常務辻重治氏の名を以て送
金する様説諭してくれと平署
に願出た平署では本人を呼び出
し取調た所名義は信太郎であ
るが事實は長男の彦太郎が扱
つてゐるものと判明した

庵澤 漬り方

澤庵 縣農協同窓會

頭と尻を交互になるやちに漬り込み、先きにかけて置いた振の糠の混合物を振るのである、この法は秋刀魚並べと稱し、漬り方には井ゲタ、シヤメン等の並べ方があるその内が一番秋魚ならべがよい一段漬りならば素足でつまさきでよく押付けなると隣の方を押しつける、而してトウガラシを並べ糠をふつて前の通りに並べて、漬り込み糠を振る、斯くて半分位漬り込んだとき糠の量と残つてを大根との見當をつけ大根が少なくて糠多き時は餘分に振り大根が多くて糠の少ない時は加減して使ふ、斯様にして漬り込みが終つたらば蓋菜をかける、蓋菜は前述の黄色い部分を除いた芯菜だけ頭を開いて置いたものを後二段のときに桶縁にかけて後二段をつみ終り最上部は普通によつた量より一匁半位多く振り蓋菜をかける、蓋菜が長い場合は斜めにかけると良くかゝる、重石は二十貫から二十三貫で大根の乾し方が悪く、質の悪いものは二十五貫、理想のものには二十貫位で充分である斯くとすると翌日または三日日位で漬り汁が出る、そして一週間は口直しをして、三割内外重石を減らすのであるその口直しをなすとくに縦線をする、主として大根は周圍から悪くなるのであるから廿口は四五日、辛口は一週間減らしただけの重石を増す連座のものは暖かいところに

長時間のものは寒いところに置く、但し凍つてはならぬ重石の重いは仕上げ量減る、暖かいところで三十日乃至二十九日、寒いところで二ヶ月も経てば食用に供される、

若人向、紳士向

冬の中折帽子とネクタイ

- ・特選優ソフト Y 2,00
- ・" 國産フワー Y 5,50
- ・セラフイック帽 Y 6,00

ツルヤ 電一四〇

正確な体温計
なる寒暖計
計量器指定販賣
平町五丁目
山野邊藥局

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三屋 平町 田町
用命は

ガソリン
モビル油
石油株式会社

特約販賣
油問屋
關内油店
磐城平 電話長 16

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町 電話五二三番
院長 醫學士 高久忠

高久病院

★平町吳服商組合
★福引大賣出し
十一月二十二日ヨリ
舊十二月十八日ヨリ 「七日間」

二丁目	伊關吳服店
五丁目	小野吳服店
土橋	渡邊吳服店
白銀町	川又吳服店
鍛冶町	吉田吳服店
新川町	谷屋吳服店
搔樋小路	松屋吳服店
古鍛冶町	安積屋吳服店
研町通り	北川吳服店
三丁目	三井吳服店
新川町	諸橋吳服店
一丁目	仙臺屋吳服店

組合加盟店 (イロハ順)

新設、電話二二二番
何卒御利用の程を……
平町紺屋町一
上原家政婦會
(代表) 上原通子

新設、電話二二二番
何卒御利用の程を……
平町紺屋町一
上原家政婦會
(代表) 上原通子

入 院 應 請
●自炊の便あり●
明雲堂眼科醫院
平町前 電六六九番

しづかに	食事の出来
る	正しい食堂
正し	正しい喫茶
正し	正しい酒場

平町 平田町
レストラン サロン
三三三

スペイン G・H・N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1・10
御婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋藥舖 (電3)

(磐城共濟病院) 福島縣平町電六四一
電話六四二番

内 科	院長 醫學博士 石山謙郎
小 兒 科	部長 醫學士 賀一忠
産 婦 人 科	副院長 醫學博士 五十嵐雄二
外科耳鼻咽喉科	部長 醫學士 大町久藏
皮膚泌尿科	部長 醫學士 山澤正
性病科花柳病科	醫學士 山澤正
X 光線科	醫學博士 石山謙
衛生試驗所	技術員 石山謙
藥 局	局長 藥劑師 高木孝
事務 長	局長 藥劑師 鈴木寶

(毎日午前八時より午後十時迄診療)
●病室完備●入院隨意●

表代城磐 酒 錫
美味經濟 錫酒
山崎合名會社
電話十廿電

目科療診
一、齒科 一般
保存科、補綴科、鑲齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿腫科、レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科 醫學士 中野 誠
日本齒科 醫學士 西川 誠
平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番